

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 しまね暮らし推進課長 仁科 慎治郎 電話番号 0852-22-6179

事務事業の名称	ふるさと島根定住推進事業（Uターンしまね推進事業）	
目的	(1) 対象	Uターン希望者
	(2) 意図	総合的な定住情報を提供するとともに、産業体験や無料職業紹介などにより、定住の促進を目指す。
事業概要	ふるさと島根定住財団を「島根へのUターン窓口」とし、財団・県・市町村等が一体となり定住推進に取り組んでいる。 近年、他県もUターンに対する支援策を強化する中、本県においてもUターン希望者のニーズに応じた魅力ある情報発信に努めるとともに、地域での受入体制を強化し、喫緊の課題に対応する支援策を設けることで定住を推進する。	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 Uターン者受入数	目標値	100.0	200.0	300.0	400.0	500.0	人増
		取組目標値						
	式・定義 Uターン者数（島根県人口移動調査の集計による）	実績値	140.0					%
		達成率	140.0	-	-	-	-	
2	指標名 Uターン希望者の産業体験終了後の年間定着者数	目標値		53.0	53.0	53.0	53.0	人以上
		取組目標値						
	式・定義 定着者数（ふるさと島根定住財団の集計による）	実績値	47.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	136,587	130,329
うち一般財源 (千円)	136,587	95,479

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・（公財）ふるさと島根定住財団が行っている、産業体験事業等を始めとする充実した各種支援制度や総合的な情報発信、各市町村における市町村定住支援体制の強化等、島根県が従来より行ってきた定住施策の効果が顕在化してきており、Uターン者数が過去最高を更新し、Uターンフェアの来場者数が1,280人と過去最大の人数となる等の大きな成果が表れている。
- ・県内の雇用情勢の改善に伴い、有効求人数の増加し、無料職業紹介の求人数の大幅な増加が見られた。また、Uターンにより県内に職を求め人は変わらず増加傾向にあり、就職決定者数も増加した。

6.成果があったこと（改善されたこと）

- ・平成18年度から実施している無料職業紹介事業では、体制強化等をはかり、県内の就職決定者数の増加を目標に取り組んだところ、年間255人（前年度比+74人）となった。
- ・「しまねUターンフェア」では広報強化等により、来場者数が過去最大の1,280人となった。
- ・産業体験の認定者数も増加し、83名となった。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- (1)産業体験事業は平成25年度には対象事業に介護事業を追加する等行っているが、介護、福祉、情報処理技術等の職種において、求人数に対して、求職者数が少ない状態が続いている。
  - (2)地域間競争の激化に伴い、Uターン者の取り合いになってしまう可能性がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- (1)介護・福祉・情報処理分野等の求職者数の絶対数が不足している。
  - (2)地方創生の流れの中で、Uターンに力を入れる自治体が全国的に増加し、地域間競争が激化している。他県の政策をモデルとすることで、多くの自治体が類似した施策を実施することにより、地域間の特色が見えづらくなってきている。
- ③原因を解消するための「課題」
- (1)わかりやすい情報発信、すなわち、求職者一人ひとりが雇用情報を入手しやすくするとともに、常に最新の求人情報に更新・情報提供できるシステムを構築していく必要がある。また、関係機関や県庁内他部局との連携が不可欠。
  - (2)Uターンの成果が出ている基幹事業「Uターン産業体験事業」の拡充と、定着率強化の方策が必要。

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・「課題」を解決するため、質・量ともに働く場の充実を図るとともに、各部局との連携が必要。そのために、以下を実施。
- ①定住財団の無料職業紹介における求人数の増加促進（求人掘起し）
- ②関係機関と連携した情報や施策の共有化
- ③産業体験事業の予算拡充と定着率強化の推進

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	ふるさと島根定住推進事業(Uターンしまね推進事業)
---------	---------------------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	島根ふるさと情報登録事業の登録者数	目標値	1,200.0	1,650.0	2,100.0	2,550.0	3,000.0	人
			取組目標値						
	式・定義	登録者数 (ふるさと島根定住財団の集計)	実績値	1,265.0					%
			達成率	105.5	—	—	—	—	
4	指標名	Uターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	目標値	186.0	192.0	198.0	204.0	210.0	人
			取組目標値		260.0	270.0	270.0	270.0	
	式・定義	決定者数 (ふるさと島根定住財団の集計)	実績値	255.0					%
			達成率	137.1					
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	